

函館圏の産業活性化に資する鮭鱒類養殖シンポジウム

1. 概要

日時：令和4年2月25日（金） 14：00～16：00

開催場所：Zoomを使用したオンライン

主催：一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構

2. プログラム（時間は5-10分ほど前後することがあります。予めご了承ください）

14：00～14：20 「開催の挨拶」

嵯峨 直恒 函館国際水産・海洋都市推進機構 推進機構長

14：20～15：10 「宮城県のギンザケ養殖 ―震災復興から学んだこと―

早乙女 浩一 氏 東京水産振興会 理事

15：10～16：00 「北海道のサケマス養殖を事業化するための課題」

三坂 尚行 氏 北海道立総合研究機構 研究主幹

3. シンポジウムの背景

函館・道南地区では、自然・社会環境の変動の影響で、主要産業の水産業の衰退が続いており、関係者が大きな打撃を受けている。とりわけこの度のコロナ禍で、体力が低下している水産業者にとってのダメージは計り知れない。そのため、水産業の再生は、当地区の持続的発展に必要不可欠である。

漁業資源（イカ、マグロ等）の変動は大きく、予測も困難で漁獲安定性に欠けるため、水産業の安定的な発展のためには、環境変動の影響を受けにくい、より安定した漁獲対象物が必要となる。そこで、現在、当機構は、函館市や北海道大学等と共同でサケマス類の完全養殖に向けた体制構築および基礎研究を進めている。

しかし、北海道では現在までに、商業規模でのサケマス類の完全養殖の成功例がなく、持続的な事業継続のためには、養殖の入り口から出口までの各段階での豊富な経験を持つ専門家からの情報提供やアドバイスが不可欠となる。そのため、本シンポジウムでは、これらの関係者を招聘してご講演いただき、サケマス類の養殖による本地区の新産業育成の契機を図る。

4. 申し込み方法

参加ご希望の方は、①ご所属（もしくはご職業）、②お名前、③ご住所を明記いただき、m.sampei@marine-hakodate.jp宛てにEメールでお知らせください。登録手続き上、令和4年2月21日午後5時締切とさせていただきます。また、情報確認後メールに会議の詳細をお送りいたしますので、22日午後5時までに連絡がない場合は、お手数をお掛けいたしますが、メールにて再度ご連絡いただきますようお願いいたします。

函館国際水産・海洋都市推進機構

Tel. 0318-21-4700

E-mail : m.sampei@marine-hakodate.jp

担当：三瓶（さんぺい）